

2018 年（平成 30 年）10 大ニュースを選定 ～市政を中心として～

年末にあたり平成 30 年の 10 大ニュースを選定し、市民の皆様とともに進めてきたまちづくりを振り返ります。

（時系列順）

1 地方創生の推進に向け、包括連携協定を締結（1 月～）

～1 月 NIPPON Tablet(株)、9 月兵庫県信用組合、12 月みなと銀行と提携～

1 月 NIPPON Tablet(株)

1 年間、訪日・在日外国人向けにタブレットを活用した無料通訳サービスを市役所の一部窓口で提供しています。

9 月 兵庫県信用組合

これまで市単独で中小企業支援を行ってきた分野において、金融機関のノウハウやネットワークも活用することで地場産業の活性化につなげていきます。

12 月 みなと銀行

地域産業やまちの活性化、移住・定住促進、子育て、教育など幅広い分野で提携し、今後、地域貢献寄附型ファンド「三木市とともに」を創設し、子ども向け A I など、先進技術に触れる機会の創出などにつなげていきます。

2 三木駅再生に向けた取組の推進（3 月～）

～三木駅の再生、駅周辺のにぎわいづくり、粟生線の活性化に向けて～

平成 30 年 3 月 4 日に発生した火災により焼失した神戸電鉄粟生線三木駅の再生のみならず駅周辺のにぎわいづくりとともに、粟生線の更なる活性化に資する交通環境を構築するため、県および神戸電鉄株式会社とともに協議を行いました。

また、市独自の寄附制度の創設（7月）、三木駅の再生に関するアンケート調査の実施（7月～8月）、ふるさと納税の使いみちに「三木駅再生」を追加（10月）など、三木駅の再生に向けた取組を着実に推進しました。

3 企業連携消防団の運用開始（4月）

～災害に強い消防団組織をめざして～

平日昼間や大規模災害時における消防力の充実強化のため、三木市消防団に企業連携消防団を導入しました。企業が所在する地域周辺で就業時間帯に発生した災害や大規模災害発生時に出動し、地域消防団と連携して災害に対応します。

4 三木市人権・同和教育協議会（三同教）発足50周年（5月～）

～各地区で人権尊重の記念事業を実施～

三木市人権・同和教育協議会（三同教）は、昭和43年の結成以来、あらゆる人の人権が尊重されるまちづくりに取り組んでいます。平成30年度は発足50周年を迎え記念事業を実施しました。

▼記念事業

- ①三同教50周年記念式典&シンポジウム（8月19日）
- ②市民人権劇「わたしに失敗させてよ」公演（3回）
- ③ふれあいスポーツデーに参画（5月3日）
- ④障がい者ふれあいスポーツ大会に参画（10月20日）
- ⑤地域10公民館で記念イベント

5 別所ゆめ街道が全線開通（5月）

～旧三木鉄道跡地が新たに生まれ変わりました～

平成20年の三木鉄道廃線から10年。三木鉄道記念公園～別所ゆめ街道の里～別所ふるさと交流館をコースとする4.8kmの遊歩道や、飲食物産館として「いなみころ三木別所店」がオープンするなど、旧三木鉄道跡地が新たに生まれ変わりました。

6 過去 10 年間で最大の災害被害 (7~9 月)

～暴風雨が町を襲う、みっきい夏まつり 2018 が中止に～

今年、全国的に災害が多く発生し、被害も大きい年であり、三木市においても、7 月豪雨災害では 3 日間の総雨量が 399.5mm となり、市民 41,029 人を対象として避難勧告を発令した。被害は全壊 1 戸の建物をはじめとして、道路崩壊、河川護岸崩落等が多数発生し、農地等においては 600 件を上回る被害が生じました。

また、台風 20 号と台風 21 号は、それぞれが三木市に暴風と雨をもたらし、台風 20 号では最大瞬間風速 38.1m/s・時間雨量 61mm・総雨量 140mm となり、台風 21 号では最大瞬間風速 26.9m/s・時間雨量 31mm・総雨量 63mm となりました。両台風の暴風による住家の屋根や瓦の破損、カーポートやフェンスの破損件数は、80 件を上回っています。

台風の接近により、みっきい夏まつり 2018 などの様々なイベントが中止となりました。

7 姉妹都市との交流 (8 月、10 月)

～フェデレーション市へ訪問、バイセリア市から訪問団を受入～

8 月 20 日～28 日、三木市民訪問団が姉妹都市であるオーストラリア・フェデレーション市を訪問しました。旧吉川町から引き継いだ両市の交流を今後も継続するため、再調印式を行いました。訪問団はホストファミリーとともに様々な体験を通して、市民交流を深めました。

10 月 3 日～9 日、姉妹都市であるアメリカ・バイセリア市から市民訪問団を受け入れました。金物工場見学やうちわ絵付け体験、秋祭り見学などを通して、市民との交流を深めました。

8 2020 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに (9 月～)

～フランス陸上競技選手団 (五輪) が決定・ネパールテコンドー選手団 (パラ五輪) も予定～

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、フランス陸上競技選手団（オリンピック）の事前合宿地が三木市に決定しました。平成30年9月15日に、フランス共和国タランス市において、兵庫県・三木市・フランス共和国陸上競技連盟の三者で調印式を行いました。

また、ネパールテコンドー選手団（パラリンピック）においても受け入れの準備を進めています。

今後、両選手団は2019年に事前合宿、2020年に大会直前合宿を行う予定です。また、事前合宿時に、市民との交流イベントも予定しています。

9 市政懇談会が復活（9～11月）

～市民の皆様とのよりよいまちづくりのために～

三木市内全10地区において、市政に関する意見交換の場として、区長協議会と行政による市政懇談会を12年ぶりに行いました。

いただいた意見・提言については、可能な限り今後の市の取り組みに反映していき、市民の皆様と、より魅力のあるまちづくりを進めていきます。

10 みきで愛（出会い）サポートセンター設立10周年（11月）

～成婚者100組達成～

みきで愛（出会い）サポートセンターは、平成30年11月22日をもって設立10周年を迎えるとともに成婚100組（累計）を達成しました。

これを契機に、成婚者をはじめセンター関係者の方々にお集まりいただき、これまでの成果を実感していただくとともに、今後の活動の原動力となるよう平成30年11月23日に設立10周年記念パーティーを開催しました。

問い合わせ先 三木市総合政策部広報広聴課
電話 0794-82-2000（内線 2414）